

就労継続支援 A 型事業所におけるスコア表 (全体)

| | |
|------|--------------------|
| 事業所名 | 障がい福祉サービス事業所あいの里中間 |
| 住 所 | 福岡県中間市中底井野1164番30 |
| 電話番号 | 093-482-8281 |

| | |
|-------|------------|
| 事業所番号 | 4016200240 |
| 管理者名 | 安河内克枝 |
| 対象年度 | 令和5年度 |

| (I) 労働時間 | | 90 | 点 |
|--------------------------|-----------------------|----|---|
| ①1日の平均労働時間が7時間以上 | <input type="radio"/> | | |
| ②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満 | | | |
| ③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満 | | | |
| ④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満 | | | |
| ⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満 | | | |
| ⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満 | | | |
| ⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満 | | | |
| ⑧1日の平均労働時間が2時間未満 | | | |

①90点 ②80点 ③65点 ④55点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点

| (II) 生産活動 | | 50 | 点 |
|---|-----------------------|----|---|
| ①過去3年の生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上 | <input type="radio"/> | | |
| ②過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上 | | | |
| ③過去3年の生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが前年度に利用者に支払う賞金の総額以上 | | | |
| ④過去3年の生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが前々年度に利用者に支払う賞金の総額以上 | | | |
| ⑤過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満 | | | |
| ⑥過去3年の生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満 | | | |

①60点 ②50点 ③40点 ④20点 ⑤-10点 ⑥-20点

| (III) 多様な働き方 (※) | | 15 | 点 |
|---------------------------------------|-----------------------|----|---|
| ①免許・資格取得、検定の受検奨励に関する制度 就業規則等で定めている | <input type="radio"/> | | |
| ②利用者を職員として登用する制度 就業規則等で定めている | <input type="radio"/> | | |
| ③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律 就業規則等で定めている | | | |
| ④フレックスタイム制に係る労働条件 就業規則等で定めている | | | |
| ⑤短時間勤務に係る労働条件 就業規則等で定めている | <input type="radio"/> | | |
| ⑥時差出勤制度に係る労働条件 就業規則等で定めている | | | |
| ⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度 就業規則等で定めている | <input type="radio"/> | | |
| ⑧傷病休暇等の取得に関する事項 就業規則等で定めている | <input type="radio"/> | | |
| 小計 (注1) | 5 | | |

(※) 8項目の合計点に応じた点数 (注1) 5以上:15点、4~3:5点、2点以下:0点

| (IV) 支援力向上 (※) | | 0 | 点 |
|---|-----------------------|---|---|
| ①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会 参加した職員が1人以上参加している | | | |
| ②研修、学会等又は学会誌等において発表 1回以上の場合 | | | |
| ③視察・実習の実施又は受け入れ いずれか一方のみの取組を行っている | <input type="radio"/> | | |
| ④販路拡大の商談会等への参加 1回以上の場合 | <input type="radio"/> | | |
| ⑤職員の人事評価制度 人事評価結果に基づき定期的に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している | | | |
| ⑥ピアサポーターの配置 ピアサポーターを職員として配置している | | | |
| ⑦第三者評価 過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。 | | | |
| ⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等 都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた規格その他これに準ずるものの認証を受けている | | | |
| 小計 (注2) | 2 | | |

(※) 8項目の合計点に応じた点数 (注2) 5以上:15点、4~3:5点、2点以下:0点

| (V) 地域連携活動 | | 10 | 点 |
|--|-----------------------|----|---|
| 地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している | <input type="radio"/> | | |

1事例以上ある場合:10点

| (VI) 経営改善計画 | | 0 | 点 |
|---|-----------------------|---|---|
| 経営改善計画の提出を求められていない。または、経営改善計画の提出を求められているが、指定された期日までに提出している。 | <input type="radio"/> | | |

期限内に提出していない場合:-50点

| (VII) 利用者の知識・能力向上 | | 10 | 点 |
|--|-----------------------|----|---|
| 前年度において、就労継続支援 A 型事業所等が利用者の知識及び能力の向上に向けた支援を行い、当該支援の具体的な内容を記載した報告書を作成し、インターネットの利用その他の方法により公表している。 | <input type="radio"/> | | |

1事例以上ある場合:10点

| 項目 | 点数 |
|-------------|--------------------------------|
| 労働時間 | 5点 20点 30点 40点 55点 65点 80点 90点 |
| 生産活動 | -20点 -10点 20点 40点 50点 60点 |
| 多様な働き方 | 0点 5点 15点 |
| 支援力向上 | 0点 5点 15点 |
| 地域連携活動 | 0点 10点 |
| 経営改善計画 | 0点 -50点 |
| 利用者の知識・能力向上 | 0点 10点 |

| | | |
|----|-----|----------|
| 合計 | 175 | 点 / 200点 |
|----|-----|----------|

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（実績Ⅰ～Ⅳ、Ⅵ）

(Ⅰ) 労働時間

| | | | | | |
|-----------------------------|--------|-------------------|-------|----------------|-----|
| 前年度（5年度） | | 雇用契約を締結していた延べ利用者数 | | 利用者の1日の平均労働時間数 | |
| 雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間 | 48,224 | 時間 | 6,479 | 人 | 7.4 |

(Ⅱ) 生産活動

| | | | | | |
|-----------------|------------|---|--------------|-------------|---|
| 会計期間（11月～10月） | | | | | |
| 前々々年度（2年度） | | | | | |
| 生産活動収入から経費を除いた額 | 11,825,291 | 円 | 利用者に支払った賃金総額 | 17,575,338 | 円 |
| | | | 収支 | ▲ 5,750,047 | |
| 前々年度（3年度） | | | | | |
| 生産活動収入から経費を除いた額 | 19,170,668 | 円 | 利用者に支払った賃金総額 | 18,434,071 | 円 |
| | | | 収支 | 736,597 | |
| 前年度（4年度） | | | | | |
| 生産活動収入から経費を除いた額 | 49,973,683 | 円 | 利用者に支払った賃金総額 | 42,168,774 | 円 |
| | | | 収支 | 7,804,909 | |

(Ⅲ) 多様な働き方

前年度（年度）における取組（全体表「(Ⅲ) 多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めている」と選択した場合に記載）

| | | |
|---|---|---|
| <p>①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度</p> <p>◎免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度を定めている <input checked="" type="checkbox"/></p> | <p>②利用者を職員として登用する制度</p> <p>◎利用者を職員として登用する制度を定めている <input checked="" type="checkbox"/></p> | <p>③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律</p> <p>在宅勤務に係る労働条件及び服務規律に関する制度を定めている <input type="checkbox"/></p> |
| <p>④フレックスタイム制に係る労働条件</p> <p>◎フレックスタイム制に係る労働条件を定めている <input type="checkbox"/></p> | <p>⑤短時間勤務に係る労働条件</p> <p>◎短時間勤務に係る労働条件を定めている <input checked="" type="checkbox"/></p> | <p>⑥時差出勤制度に係る労働条件</p> <p>◎時差出勤制度に係る労働条件を定めている <input type="checkbox"/></p> |
| <p>⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度</p> <p>◎有給休暇の時間単位取得または、計画的付与制度を定めている <input checked="" type="checkbox"/></p> | <p>⑧傷病休暇等の取得に関する事項</p> <p>◎傷病休暇等の取得に関する事項を定めている <input checked="" type="checkbox"/></p> | |

(Ⅳ) 支援力向上

前年度（年度）における取組（全体表「(Ⅳ) 支援力向上」の各項目に取組あり選択とした場合に記載）

| | | |
|--|---|--|
| <p>①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会</p> <p>◎研修計画を策定している <input type="checkbox"/></p> <p>◎外部研修、もしくは内部研修を1回以上実施している。 <input type="checkbox"/></p> <p>※研修名</p> <p>研修講師</p> <p>実施日・受講者数 月 日 人</p> | <p>②研修、学会等又は学会誌等において発表</p> <p>◎研修、学会等又は学会誌等において1回以上発表している <input type="checkbox"/></p> <p>※研修、学会等名</p> <p>実施日 月 日</p> <p>※学会誌等名</p> <p>掲載日 月 日</p> <p>発表テーマ</p> | <p>③視察・実習の実施又は受け入れ</p> <p>◎先進的事業所の視察・実習の実施している</p> <p>もしくは、他の事業所の視察・実習を受け入れている <input checked="" type="checkbox"/></p> <p>※先進的事業者名 NPO法人県央自立支援センター亜斗務</p> <p>実施日/参加者数 令和5年9月20日 2名</p> <p>※他の事業所名 NPO法人佐世保自立支援センターチャレンジ</p> <p>実施日/参加者数 令和6年2月26日 2名</p> <p>見学した両事業所ともスコア表170点以上の事業所</p> |
| <p>④販路拡大の商談会等への参加</p> <p>◎販路拡大の商談会や展示会等へ1回以上参加している。 <input checked="" type="checkbox"/></p> <p>※商談会等名 障害者ワークフェア2023</p> <p>主催者名 (独)高齢・障害・求職者雇用支援機構・愛知県</p> <p>日時 令和5年11月18日 9時～17時</p> <p>内容：障害のある方々の雇用や各種支援に関わる展示、実演、体験などの複合的なイベント。一般企業への自社施設の紹介や新たな作業のヒントを得る事が出来た。</p> | <p>⑤職員の人事評価制度</p> <p>◎職員の人事評価制度を整備している <input type="checkbox"/></p> <p>◎当該人事評価制度を周知している <input type="checkbox"/></p> <p>人事評価制度の制定日 年 月 日</p> <p>人事評価制度の対象職員数 名</p> <p>うち昇給・昇格を行った者 名</p> <p>当該人事評価制度の周知方法</p> | <p>⑥ピアサポーターの配置</p> <p>◎ピアサポーターを配置している <input type="checkbox"/></p> <p>◎当該ピアサポーターは「障害者バート研修」を受講している <input type="checkbox"/></p> <p>※配置期間 月 日～月 日</p> <p>就業時間</p> <p>職務内容</p> |
| <p>⑦第三者評価</p> <p>◎前年度末日から過去3年以内に福祉サービス第三者評価を受けている <input type="checkbox"/></p> <p>※評価を受けた日 月 日</p> <p>第三者評価機関</p> | <p>⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等</p> <p>◎ISOが制定したマネジメント規格等の認証等を受けている <input type="checkbox"/></p> <p>※認証を受けた日 月 日</p> <p>規格等の内容</p> | |

(Ⅵ) 経営改善計画

| |
|--|
| ◎指定権者である都道府県（指定都市・中核市）へ、経営改善計画書へ提出した。 <input type="checkbox"/> |
| ※受理日 年 月 日 |

各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。




令和 6 年 4 月 15 日

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

| | |
|------|--------------------|
| 事業所名 | 障がい福祉サービス事業所あいの里中間 |
| 住 所 | 福岡県中間市中底井野1164番30 |
| 電話番号 | 093-482-8281 |

| | |
|-------|------------|
| 事業所番号 | 4016200240 |
| 管理者名 | 安河内克枝 |
| 対象年度 | 令和5年度 |

地域連携活動の概要

| | |
|--|---|
| <p><活動内容></p> <p>施設外就労 就労場所：株式会社アルサ 中間工場 福岡県中間市中底井野1164番41 業務内容：病院リネンのクリーニング作業 洗濯物の仕分け シーツ類のほぐし作業 作業人数：3名</p> | <p><活動の様子></p> <p>施設外就労先での クリーニング作業の様子</p>    |
| <p><目的></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 近隣地域の工場で施設外就労を行う事で、始業時・終業時の支援や生活支援を手厚く行うことが出来、フルタイム勤務に向けたサポートが行いやすい。 ・ 工場が施設の向かい側という立地から、合同で火災訓練を行うなどしており、災害時の対応が取りやすい。 | |
| <p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 施設外就労でフルタイムに近い時間帯の工場勤務をさせてもらうことで、一般就労に向けた体力づくりをすることが出来る。5年度は7時間勤務から7時間半勤務に延長していただいた。 ・ 7時間以上勤務の就労訓練施設は数少ないため、実践に近い訓練が出来ると利用者にも喜ばれている。 | |

連携先の企業等の意見または評価

| | | | |
|--|---------|------|-------|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和5年度、従来の7時間勤務から7時間30分勤務に延長させていただきましたが、勤務状況、勤務態度、体調面等、特段問題なく、勤務していただき、一般就労に向けた体力づくり等、その準備が整いつつあると思慮いたします。 ・ 始業時・終業時や就業時間中のサポートも手厚く行っていただき、他の従業員との何らトラブルもなく、順調に推移しています。 ・ 今後も、支援員のサポートをいただきながら、一般就労に向けた取り組みを行ってまいります。 | | | |
| 連携先企業名 | (株) アルサ | 担当者名 | 高木 裕文 |

就労継続支援 A 型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

| | |
|------|--------------------|
| 事業所名 | 障がい福祉サービス事業所あいの里中間 |
| 住所 | 福岡県中間市中底井野1164番30 |
| 電話番号 | 093-482-8281 |

| | |
|-------|------------|
| 事業所番号 | 4016200240 |
| 管理者名 | 安河内 克枝 |
| 対象年度 | 令和5年度 |

利用者の知識・能力向上に係る実施概要

<活動内容>

- ・実施場所：施設外就労先アルサ中間工場
 - ・実施日時：令和6年2月10日
 - ・実施概要：クリーニング業務従事者講習
- クリーニング業務従事者講習用テキストを用いて、クリーニング業務従事者の基礎知識を学ぶ。講師はクリーニング師資格を持った施設外就労先の方。
- ・参加者数：1名

<目的>

- ・定期的に行われるクリーニング従事者講習を受講することでクリーニングに関する専門知識を学び、洗濯物の選別や洗剤の取り扱いなどにも従事することができるようになる。
- ・クリーニング業務に興味を持ってもらい、クリーニング師の資格取得に向けた支援を行っていきたい。
- ・専門知識を学ぶことで一般就労を目指す際に強みになる。

<成果>

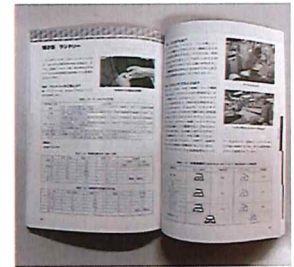
- ・テキストに沿ってクリーニング師から1対1で講習を受けることで、受講者のベース・理解度に合わせ進めることができた。
- ・受講者の作業への取り組み方に変化が見られた。受講していない利用者に対し作業中の声掛けが増え、仕事への自信につながっている。
- ・利用者全員を対象にした場合、講習内容に専門用語が多い為、利用者の理解力に合わせた講習内容に変更していく必要がある。

<活動の様子>

受講の様子



使用したテキスト



連携先の企業や事業所等の意見または評価

- ・クリーニング業務の専門的知識を学ぶ事により現場での洗濯の実務業務への関心が高まり生産向上に大いに貢献して頂いている。
- 又、洗剤等の薬品について学ぶ事により製品の品質向上も見られます。
- ・今回の学習を通じて今後は落ちにくいシミ落とし等のスキルアップを図る為、支援員スタッフと連携の元更なる向上に取り組んでいきたい。

連携先企業（担当者）

株式会社アルサ ホテルリネン事業部課長 田中亮平

利用者からの意見・評価

・講習の受講者 S.Iさんの感想

受講した内容についてはよくわからなかった。これから、このような勉強会があっても参加するかはわからない。勉強したり取っ
てみたい資格などは無い。勉強よりも仕事をやってみながら覚える方が良い。